

第四十六回 貴族院 恩給法案外一件特別委員會議事速記録第三號

付託議案

大正十年法律第一百二號中改正法律案

大正十二年三月二十日(火曜日)午前十時四十五分

開會

○委員長(公爵近衛文麿君) ソレデハ開會致シマス、最

初ニ小委員會ノ經過ヲ概略御報告申上ダマス 小委員會

ハ前後四回ニ瓦リマシテ之ヲ聞キマシタ、最モ慎重ニ逐條

審議ヲ致シマシテ大藏大臣ニモ出席ヲ求ムルコト二回ニ及ビマ

シタ、十分ニ懇談ヲ遂ダマシタ、種々細カイ御質問モゴザイ

マシタ、最モ重要ナル問題ハ施行時期ニ關スル問題デゴ

サイマシテ、御承知ノ通り衆議院ノ修正ノ結果増額ニ要ス

ル總年額三千万圓、約三千万ト云フコトニナリマシテ、之ヲ

六年間ノ繼續事業トシテ完成スルト云フコトアゴザイマシ

タグ、小委員ニ於キマシテハ時勢ノ要求ニ鑑ミマシテ屢々大

藏大臣ト懇談ヲ重ねマシタ結果、昨日大藏次官ヨリ大臣ア

名ヲ以テ回答ガゴザイマシタ、其回答ニ依リマスレバ明年度

ヨリ全部ヲ實行スル、本年度ハ四分之一、即チ七百六十万

圓、本年度ノ豫算ニ計上スル、其中三百五十万圓ハ總豫

算ニ計上セラレテ居リマスデ、追加豫算トシテ四百万圓ヲ

計上スルト云フコトアゴザイマシタ、ソコデ本法ハ本年十月

一日ヨリ實施スルコト、シテ差支ナイトニナルノデアリマス

ソコデ江木君ヨリ其施行期日ヲ明文ニ現ハシタガ宜カラ

ウト云フ御修正ノ案ガ出マシタ、八十三條「本法施行ノ期

日及各條ノ適用ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマス

ハ「本法ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス」ト改メマ

シタ、之ニ付キマシテハ委員ニ於キマシテモ意見ガゴザイマセ

ス、又政府當局ニ於キマシテモ異議ガゴザイマセ、又政府當

局ニ於キマシテモ同意ヲ表サレマシタ、尙ホ明年度ヨリ全部
ノ即時實行スルト云フコトニナリマシタ結果百一條以下ノ
條文ニ於テ字句ヲ修正スル必要ガアリマスノデ、其事ハ委員
長ニ御一任ニナリマシタノデ、委員長ニ於キマシテハ政府當
局ト相談ノ上百一條「本法施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依
リ年金ダル恩給退隱料遺族扶助料其ノ他之ニ準ズベキモ
ノヲ受ケ又ハ受クベキ者ニシテ本法所定ノ恩給又ハ扶助料
ノ金額ヲ受ケサル者ニハ當該金額恩給ニ其金額ト本法所
定ノ各相當恩給又ハ扶助料ノ金額トノ差額ヲ勅令ノ定ム
所ニ依リ分割遞次増給ス」ノ其分割遞次「ト云フ字ヲ削
リマス、ソレカラ第百二條及ビ百四條ヲ削リマス、百三條ヲ
百二條トシ、百五條ヲ百三條ト致シマス、ソレカラ第百六
貴族院恩給法案外一件特別委員會議事速記録第三號

條ヲ第百四條トシ、同條中「第八十三條及」トアル其及ト
云フ字ヲ削リマス、大體概略右ノ如ク決定シマシテ、尙ホ本
委員會ニ於キマシテハ御質問ノ點モアラウト思ヒマスカラ、
引續イテ之ヨリ質問ヲ開キマス

○江木翼君 大藏當局ノ御出席ヲ得マシテ、チヨント確メ
テ置キタイト思ヒマス、伺ニテ置キタイトコトか……

○委員長(公爵近衛文麿君) 唯今大藏大臣ハ本議場ニ
居ラレルサウデ、チヨット出兼ルサウデアリマス、今大藏次官
ノ御出席セラレルヤウニ呼ンデ居リマスカラ暫ク……

○阪本彰之助君 幸ヒ恩給局長モ御出席デアリマシテ伺
ヒタインデアリマスガ、此八十條デアリマスガ、遺族ノ扶助料
ノコトデアリマスガ、現行法デ見ルト寡婦ガ其家ヲ去リマス
ト扶助料ヲ受クル權ヲ失フト記憶シテ居リマスガ、今度ノ
此法文デ見マスト一項ニ但書ガ附イテ居リマシテ、此但書
ニ依リマスト寡婦ガ例ヘバ夫ト共ニ或家ノ籍ニ居ラタ者例
ヘバ兄ガアマダ分家ヲセズニ居テ、兄ノ家ニ夫モ同籍ニ
居ラタ、所デ夫ガ死ンデ死ンダニ付テ其寡婦ハ扶助料ヲ受ケ
テ矢張リ其兄ノ家ニ同籍内ニ居ラタ、ソレガ此度自分ノ子
供ト共ニ分家ヲ致シ、兄ノ家ト離レテ今迄夫ノ居タ籍ヲ離
レテ別ニ一家ヲ爲スト云フヤウナコトガ、此但書ニ依テ權
利ヲ失ハヌト云フコトニ今度ナルノデアリマスカ

○政府委員(入江貫一君) 左様デアリマス、是ハ今ノ特ニ
今御説明ニナリマシタヤウナ場合ニ分家スルコトガ、即チ忘
レ遺物ヲ伴レテ兄ノ厄介ニナラズニ分家スルト云フ例ガ往
往アルノデアリマス、ソレ等ガ茲ニ扶助料ノ權利ヲ失ハサセ
ルト云フコトハ寔ニ氣ノ毒ナ場合ガ往々ゴザイマスカラ、茲
ニ斯ウ云フ修正ヲ致シテ置キマスノデアリマス

○伯爵副島道正君 第六十條ノ第三項ニ「前項ノ場合
ニ於テ其在職年中ニ外國實勤續在職年十五年以上ノモ
對シ恩給局長ノ御説明ヲ仰ギタイ

○政府委員(入江貫一君) 外交官ガ外國ニ在職イタシ
マスコトハ、職務ノ當然ノ結果デアリマシテ、單ニ外國ニ長
ク居ラタト云フコトノミヲ以チマシテ、特別ノ扱ヒヲスル必要
ハナイコト、存ジマシテ、現行法ニモサウ云フ規定ハナイノデ
ゴザイマス、但シ外交官ガ長ク十五年以上ニモ瓦リマシテ、

海外ニノミアリ、日本ノ内地ニ歸テ來ルコトガナイト云フヤ
ウナ場合ハ、是ハ其海外ニノミアッテ勤務スルト云フコトニ
付テハ恩給法上ニ特別ノ特別ノ關係ヲ認メテ然ルベキコト
デアラウ、但シ海外ニノミアルト云フコトハ必ズシモ其軀ノミ
ガ終始海外ニアルト云フコトデハナイ、御承知ノ如ク外交
官ニハ賜暇歸朝ナドノ制度モアリマス、依テソレ等ノ賜暇
歸朝デ歸朝イタシマシタ者ハ是ハ外國勤務ノ中ノ旅行デア
リマスカラ、是等ハ矢張リ幼續ト認メマスノデアリマス、外交
官ガ外國ニ勤務イタシマシテ、又内地ニ歸リマシテ外務省
ノ勤務トナリマスト、再び出テ、海外ニ派遣サレルト云フコ
トハ、外交官當然ノコトデアル、外交官タル以上、一生サウ
ヒタインデアリマスガ、此八十條デアリマスガ、遺族ノ扶助料
ノコトデアリマスガ、現行法デ見ルト寡婦ガ其家ヲ去リマス
ト扶助料ヲ受クル權ヲ失フト記憶シテ居リマスガ、今度ノ
此法文デ見マスト一項ニ但書ガ附イテ居リマシテ、此但書
ニ依リマスト寡婦ガ例ヘバ夫ト共ニ或家ノ籍ニ居ラタ者例
ヘバ兄ガアマダ分家ヲセズニ居テ、兄ノ家ニ夫モ同籍ニ
居ラタ、所デ夫ガ死ンデ死ンダニ付テ其寡婦ハ扶助料ヲ受ケ
テ矢張リ其兄ノ家ニ同籍内ニ居ラタ、ソレガ此度自分ノ子
供ト共ニ分家ヲ致シ、兄ノ家ト離レテ今迄夫ノ居タ籍ヲ離
レテ別ニ一家ヲ爲スト云フヤウナコトガ、此但書ニ依テ權
利ヲ失ハヌト云フコトニ今度ナルノデアリマスカ

○福永吉之助君 恩給局長官ニ御尋不致シタイトノデアリ
マスガ、唯今阪本君カラ御尋不ニナリマシタ 第八十條ノ場
合デアリマスガ、此改正ト申シマスカ、追加ト申シマスカ、是
ハ特ニ適當ノコト考ヘマスルノデアリマスガ、併ナグラ此反
對ノ場合ガ起リマシテ、例ヘバ夫ガ亡クナフテ其妻ト兩親カ
恩給ニ依テ生計ヲ立テテ居ルヤウナ場合ガアル、其妻ガ兩
親ヲ振り棄テテ分家スルト云フ場合ガ往々シテアルサウデ
ゴザイマス、ソレハ海軍ノ下士卒ハ方々テ誤解ヲシテドウモ
タ人デアリマシタガ、其人カラ此八十條ノ改正ハ誠ニ適切
ナ改正デハアルケレドモカ、斯ウ云フ此反對ノ場合ガ往々シ
テ起ル、ソレデ海軍ノ下士卒ハ方々テ誤解ヲシテドウモ
餘リ面白カラヌ婦人ト約束ヲスルト云フヤウナコトガ往々シ
アブテ、ソレガ爲ニ今ノヤウナ場合ガ往々ニ起テ、甚ダ遺憾ニ
考ヘテ居ルコトデアルト、ソレデ今度ノ改正ニ付テ一方ダケ
ハシ一面ダクハ大變ニ結構ナ改正デアルケレドモ、其反對
ニ今ノヤウナコトガ起ルガ、是ハ何トカ、ソレニ付テ御意見ヲ
政府當局ニ聞イテ見タラドウカト云フ注意モゴザイマシタノデ
アリマスカ、ソレ等ノ點ニ付テ御考慮ニナッタノデアリマスカ、殊
更ニサウ云フ場合ノ規定ヲ茲ニ設ケナカッタノハドウ云フ考
デアリマスカ、其點ヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス

○政府委員(入江貫一君) 御詰シノヤウナ弊害ハ絶無ト

ハ勿論考ヘマセヌノデゴザイマス、併ナガラ多數ニ於キマシテ妻ガ俗ニ申スユビリ出サレタト云フ場合ガ極メテ多ノアリマス、唯擅ニ兩親ヲ振り棄テ行クコトハ、法律上分家ハ成立シマセヌ、戸主ノ同意ヲ得テ分家スルト云フ場合ニノミ當嵌マルノデアリマス、事實ニ於テ兩親ヲ振り棄テ、而カモノレラ御承知ノ通り、分家ノ制度ノ如キハ戸主ノ同意ガ要リマス、唯擅ニ兩親ヲ振り棄テ行クコトハ、法律上分家ヨリモ法律上、合法ニ分家セシメテ、サウシテ家族扶助料ヲスカ、大多數ノ場合ハ此改正通りニ致シマシタ方ガ實情ニ父ナリ何ナリガ取ルト云フ例ガ百ノ中ニ一ツアリマスカ、千ノ中一ツアリマスカサウ云フ例ガナイトハ斷言イタシ兼ネマスカ、如何デアリマスカ

○伯爵副島道正君 先程第六十條ニ付テ御質問ヲ致シテ御説明ガアリマシタケレドモ、更ニ尙ホ質問ガ起リマシタカラ、質問イタシタイト思ヒマス、例ヘバ華盛頓ノ日本大使館ニ就テ居ル外交官ガ滿三年勤メテ賜暇休暇デ歸ヅタ、六ヶ月ノ賜暇休暇三歸ヅタソレ外務省出仕ノ名前デ本省ア勤メテ居ル、ソレ英吉利ナリ亞米利加ナリニ勤續シテ、サウシテ十五箇年勤續シタ、是ハ實勤續ト御認メニナリマスカ、如何デアリマスカ

○政府委員(入江貢一君) サウ云フ場合ハ單ニ外務省ノ仕事ヲ手傳ハシタト云フコトデアレバ、勤續ト見テ差支アルマイト存ジマス、併ナガラ實ヲ申上げマスト、外務省ニ定員ガ無キ爲ニ、名義ヲ外務省勤務ト致シテ、サウシテ其實ハ外務省ノ仕事ヲサセテ居ルト云フコトガ往々アリマスノデ、是等ハ實質ニ鑑ミテ、ドウモ外國勤務トハ申兼ネルダラウト思ヒマス、御承知ノ通り何處何處參事官ノ名義デニ一年三ト打合セマシテ、其實質ニ付テ判断スルヨリ外仕方ガナイト思テ居リマス

○大島健一君 小委員會ニツツノ希望ヲ出シマシタガ、委員會ノ方モ段々總テノ議事ニ關係シマスカラ、小委員會ノ方ヲ早く切上ダヤウト云フノデ、二箇ノ希望ヲ保留ヲ致シテ、特別委員會デ更ニ諸君ノ御意向ニ訴ヘルト云フコトハニ残シマシタガ、其一ハ第十一條ニ權利ヲ擔保ニスルコトガ禁ジテアリマス、此禁ジタ精神ハ良イ精神デアリマスカラ、是ハ條文ニ觸レルノデアリマセヌガ、ソレガ爲ニ過日來屢々申シマシタ高利貸ノ手ニ二三年分ノ恩給證書ヲ取ラレテ仕舞テ、終身恩給證書ガ戻ラヌト云フ現狀ガアリマスノデ之ヲドウカ取戻シテヤラウ、今回ノ恩給ノ増加ニ依リマスト、今マデノ如ク屢々之ヲ質入レスルヤウナコトガ無クナラウト

思ひマスカラ免ニ角エ、テ一ツ取返シテヤテウ其ウラニトニ致シタイト思フノデアリマス、左様シナイト今度増サレタ恩給モ別ニ證書ヲ渡シテ遣テモ段々調ベテ見ルト、矢張リ取ラレテ仕舞フ、其増シタ分モ高利貸ノ手ニ這入ルト云フ状況デ、是ハ大正九年ノ恩給増加ノ時ニ氣ガ著キマシテ、私ガ政府當局ノ人ニ内々忠告ヲシマシタソレデ別ニ證書ヲ追加サレマシタガ、矢張リソレカ取ラレテ居ル、ソレヲ聞いて見ルトドウモ金ヲ貸シテ居ル者ガ増加恩給ヲ別ノ證書テ貰フタト云フコトヲ高利貸ガ知ル、ソレア矢張リ是ハ出セト云フ出サヌト云フト、高利貸ノ所ニハ色々書面ノ書キ入ルベキモノカ出來テ居テ、借金ノ公正證書ヲ作ズテ、ドンレソレデ家資分散ヲ迫マルト云フコトが起テ、已ムヲ得ズ此増加恩給ヲ渡シテ仕舞タト云フ者ガ澤山アル、能ク憲兵ナドノ調べタ者カラ聞イテ居リマス、デ私ハ偕行者ノ義濟會ノ理事長トシテモ、サウ云フ者ノアルコトヲ確ニ承知シテ居ル、サウ云フ状態デアリマスカラ、ドウカ此際低利資金ノ融通デモヤゲ、高利貸カラ恩給證書ヲ取戻シテヤラウ、數年ノ後ニハソウ云フ恩給證書ハ當人ノ手ニ戻ルヤウニ是ハ政府デヤゾテ貴ヒタイト思フノデ、此間中、政府當局ニ其案ヲ出しシテ貴ヒタイト云フコトヲ云フテ置キマシタガ、マダ其案ガ立ツテ居リマセヌカ、是ハドウカ此特別委員ノ御同意ヲ得テ希望トシテ、政府ニ其處置ヲ取ラセタイト考ヘマス、ソレデ唯今ノ希望ニ對シテ政府カラ案ヲ立テ下サルト云フコトニナタナラバ、ソニニ對スル政府當局ノ答辯ヲ聞キタイト思ヒマス、モウ一點改正ノ希望ガアリマスガ、今質問ガアルト云フ通告ガアリマシタカラ、控ヘテ措キマス

○政府委員(入江貫一君) 唯今ノ御質問ニ對シテ政府ノ議ガマタ確定致サナイト考ヘマスノデ、私カラ申上ゲルノモ如何カト存ジマスガ、併ナガラ政府當局ニ於キマシテモ此恩給ヲ擔保ニ入レテ高利貸カラ金ヲ借りテ、ソレガ爲ニ非常ニ苦シニデ居ルト云フ事實ハ認メテ居リマス、何トカ之ヲ救濟シタイト云フ考ハ疾クニ持テ居リマスガ、サテ名案ガゴザイマセヌノデアリマス、恩給ワ一時金ニ換算シテ給スルト云フコト、若クバ廣ク恩給ノ擔保ヲ許スコトハ、恩給ノ本來ノ性質ニ反スルコトハ、大島委員ニ於テモ御認メニナラレマシテ、此禁止ガアルコトハ適當デアルト仰セラレマシタ、當局トテ居リマスモノガ、全國ニ亘テ居ルコト一度及ビロヲ緩メタナラバ續々シテ擔保ニ供スル者ガ生ジテ、恩給ノ本來ノ性質ヲ破壊スルニ至ルデアラウト云フコト、ソレ等ニ鑑ミマシテ余程實行上困難ヲ感ズル所デアリマス、唯今御話ノ如ク

現ニ批付シイセキニシテ、トコトハ必ずシモ出來ナイコトデハナイト考ヘマシテ、恩給當局ト致シマシテハ貯金局ノ方、若クハ簡易保険ノ方ニ種々交渉ヲ致シテ居ルノアリマス、併ナガランレトテモ受恩給者ノ生命ノ關係ガゴザイマシ、且ツ又受恩給ガ全國ニ居ルト云フヤウナ關係モゴザイマシテ、遞信當局ニ於テモ直チニ之ヲ施行スル名案ガマダ確立イタシマセヌノアリマス、併ナガラ何トカシナクレバナラナイト云フノデ、考究ヲスルコトハ先程モ申上ダマシタ通り、恩給當局トシテハ勿論又遞信當局ト致シマシテモ考ヘテ居ル次第ニアリマス、直チニ其案ヲ確立シテ直チニ施行スルト云フコトハ、或ハ政府當局シタイト云フ考ハ十分ニ有チマシテ、努力ヲ致シテ居ル次第ニアリマス、ソレヨリ以上ノコトハ私カラ申上ゲルコトハ適當ナルマイト存ジマスカラ、之デ差控ヘテ置キタイト考ヘマスガ、遠カラズ何トカ解決シヌガ、近年歐羅巴ニ於テ老年々金法ノ制度ガ大分立ッテ居ルヤウニ承テ居ル、確カニ致シテ居リマス所ノ例トシテハ、英吉利ニ於テモ老年々金法ガ出來テ、今デハ其爲ニ國庫ノ可ナリ多額ノ金ヲ支出シテ居ルヤウニ存ジテ居リマス、更ニ他ノ大陸諸國ニモ段々其制度ガ行ハレルヤウニモ聞イテ居リマスガ、若シ御調ガアリマスレバ、ドコドコノ國デサウ云フヤナ制度ヲ取テ居ルカト云フコトニ付テ、チヨント御答ヲ願ヒタイト存ジマス

○政府委員(入江貫一君) 是ハ恩給局所管デゴザイマセヌカラ詳シイコトハ申上ダ兼ネマス、只英國、米國、佛蘭西、アタリデハ老年々金法ヲ實施シテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、サウシテ其實施ノ方法ニ付テ色ニチ困難モ感ジテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、是ハ内務省ノ社會局アタリノ所管デゴザイマセウト思ヒマスカラ、尙ホ詳シイコトハ其方ニ問合セテモ御返事イタシタイト考ヘマス

○澤柳政太郎君 イヤソレダケノコトデ宜シウゴザイマス、序デニチヨト恩給ノ事務ヲ取扱フ爲ニ恩給者ト云フヤウナモノヲ置イテ居ル所モアリハセヌカト思フノアリマスガ、サウ云フヤウナ場合ニ於テ老年々金法ヲ布イタ國デハ矢張リ其省ニ取扱フテ居ルノハナイデアリマセウカ

○政府委員(入江貫一君) 恩給者ヲ置イテ居リマスノガ只今ノ所ハ英吉利ト佛蘭西トアタリ承知シテ居リマス、サウシテ老年恩給制度モ其省ノ管理ニ屬シテ居ルト考ヘマス

セヌカ爲ニ二今日マデ非常ニ困難ヲ感ジテ居タ次第アリマス、確信トカ云フヤウナコトモ、是ハ程度ノ問題ニアリマス、唯腹ノ中デ何トカヤテ行ケルダラウト云フノト相當ニ現實ニ財源ヲ有テ居リマスノト達ヒマスガ、要スルニ程度ノ問題ニアリマス、斯ウ斯ウ考ヘルト云フテ、確定シテ申上ダルコトハ甚ダ困難アリマスガ、若シ歳入ニ於キマシテ十分ノ餘裕ヲ見ルコトガ出來ズシテ、來年度ニ此法律ヲ政府ハ一旦施行スル考ヲ以テ御約束モ致シソレデ計畫モ立テマシテ、本年十月ヨリ之ヲ施行イタシテ見マシテモ、若シ來年度ノ豫算ヲ編成スル際ニ十分ナル餘裕ヲ得ナイヤウナ場合ガ生ジシマシテ、政府トシテハ其責任ヲ盡スト云フ考ヲ有テ居ルコト云フコトヲ申上ダル以上ニハ今日財源ヲ定メテ申上ダルコトハ出來ナイト思ヒマス、唯是ハ財政計畫致シマシテ、種種財政狀況カラ之ヲ講究イタシ、若クハ批評的ニ申シマスレバ、唯今御話ノ如ク今年度ニ於キマシテ相當增收モアリマスルヤウナ計算ニ相成テ居リマスカラ、是等ノモノヲ恐ラク財源ニ充ツベキモノデナインカト云フ御意見モアラウト存ジマス、併ナガラドノ財源ヲドウ云フ風ニ振り向ケルト云フコトハ唯今來年度ノ財政計畫ハ定メ居リマセヌケレドモ、剩餘金を無論來年度豫算編成ノ財源ノ一部ニ供セラレルコトハ申上ダルマデモナイ、又歳入ノ狀況も來年度ニ於テ如何ヤウニナリマスカ、相當ノ增收ヲ見マスルカ、或ハ不幸ニシテ餘り增收ヲ見ナイヤウナ財政狀態ニナリマスカ、又將來各自ノ國費ノ要求其他ノ狀態が如何ヤウニ相成リマスルカ、其點ハ政府ニ於キマシテハ十三年度ノ豫算ヲ編成イタシマスル際ニ的確ニ豫見スルコトハ困難アリマスカラ、何トモ財政計畫ト致シマシテ、定メル譯ニ參ラヌノデアリマスカラ、其點ハ政府ニ於キマシテハ十三年度ノ豫算ヲ編成イタシマスル際ニ篤ト考慮ヲ致シマシテ、謂ハバ何事ヲ措キマシテモ、必ズ此法律施行ニ支障ナカラシメヌヤウニ全力ヲ注グト云フコトニ決心ヲ致シテ居ル次第デ、其點ニ於テ御了解ヲ願シテ置キタイト思ヒマスノデゴサマイマス、又法律案ノ御審議ノコトモ私ハマダ能ク伺ツテ居リマセヌデ、唯今ノ御話ノ上カラ唯斯様ニ任ズベキ政府ノ責任ニ於テ勅令ヲ以テ施行期日ヲ定メタイ、是ハ實行スル場合ニハ十分ニ責任ヲ持タナケレバナラヌノデアリマスカラ、其方ガ適當デハナイカ、是ハ寧ロ私一個ノ私見デアルカモ知レマセヌガ左様ニモ考ヘテ居ルヤウナ次第デ

○政府委員(西野元君) 唯今ノ御尋不ハ當初總豫算ニ
計上イタシマシタ時ノ計畫ニ依ル支給額ト今回修正案ニ
對スル實行ノ問題トシテ全部十月一日ヨリ施行スルコトニ
ニナフダ場合ト、増減ノ差違ガドウカト云フ御話ノ如クニ伺
ヒマシタノデ、其意味ニ於テ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス、實
ハ唯今出カケニ出來テ居リマシタ表ヲ大急ギテ持テ參リマ
シテ、マダ内容ヲヨク審查致シテ居リマセヌカラ萬ミ一茲
ニ誤算ナリ或ハ私ノ誤解ガアリマシタラバ後ヨリ訂正スルコト
アルベキコトヲ豫メ御了承ヲ願テ置キタイト思ヒマスガ、大
體計算ヲ致シテ見マスト云アト、政府ノ當初ノ提案ニナカ
タモノニ付キマシテハ全部増加イタスコトハ是モ申上ゲル迄
モナイコトデアリマス當初ノ提案ハ四分ノ三期分ヨリ實行
スル筈ノモノガ四分ノ一期ニ致シマスル爲ニ、如何様ニナリ
マスルカト云フコトヲ多少懸念イタシマシタガ、增加恩給ニ
付キマシテ、此計算ガ少シク多クナルカモ知レマセヌガ、此表
ガ丁度四十万圓バカリ減ル計算ニナルヤウデゴザイマス、ソ
ガ、增加恩給分ダケガ六万千圓バカリ減レヤウナ計算ニ相
成リマス、ソレカラ四十三年前ノ退官者ニ對スル文官ノ分
ガ、各自明細ノ組方ニ付キマシテモ前ニ載テ居ラモノガ減

アリマス、大體ニ左様ニ御承知ヲ願ヒタクエサマズ、シテヨット唯今申落シマンタノデ追加イタシテ申上ダマスガ、先刻御話ノ是ガ施行ニ必要ナル本年度ノ不足額トシテノ追加豫算ハ昨日衆議院ニ提出ニ相成リマシタノデ、唯今衆議院ノ豫算委員會ニ於テ審議中デゴザイマス、四百万圓恩給ノ増加ト致シマシテ第四號ノ追加豫算ト致シマシテ提出イタシマシタ、シヨット此機會ニ申上ダテ置キマス
○江木翼君 唯今政府當局ノ御話ハ了承イタシマシタ、詰リ大正十二年ハ問題ニアラズ、十三年以後五ヶ年ニ亘ル財政計畫ノ問題ニ結局ナルト思ヒマスガ、之ニ對シテハ或ハ行政整理ニ依リ、或ハ財政整理卽チ繼續事業ノ繰延等ニ依リテ或ハ十一年度ノ國庫歲計剩餘金等、各種ノ手段ヲ以テ本案ノ實行ヲ期スル、斯ウ云フ御言明デゴザイマスルが、我ニハ此責任アル御言明ニ依リマシテ本案ノ實行ハ可能ナルモノアル、斯様ニ考ヘルノデアリマス、大藏當局ノ御示シヲ諒ト致シマスト云フコトダケヲ申シテ置キマス
○大島健一君 此施行期日ガ十月一日ニナリマシテモ全部實行サレルノアリマスカラ、扶助料ニ増加恩給受領者等ニハ其受クル額ガ殆ド同ジデアルト思テ居ルノデアリマスガ、細カイ算盤ヲ致シテ居リマセスガ、當局ニ於テハ既ニ其點ハ御考慮下サレタコトダラウト思ヒマスガ、一應伺ヒタ

ルヤウナエトハナインアリマシテ各自明紙ノ單ニ置キノ參考ニ過ギナイノデ豫算討議ノ目的モナイナデアリマスカラ、参考書ヲサウニ云フ風ニ御讀ミテ頗ノニアリマシテ、唯假リニ減ルベキ分ヲ外ノ方ニ繰合セテ置イテ、全體ノ項ニ付テノ分ガ四百万圓ト致シタノアリマス、此増加恩給ノ中デ一一番心配イタシマシタノハ廢兵等ノモノガ減ルト云フコトニアリマスガ、ソレヲ一番懸念イタシマシタガ、僅カニ六万千圓、恩給増加ノ總額四百万圓、大正十二年分ト致シマシテ百十三万圓、其中ノ六万千圓減リマシテ四分ノ三期ガ四分ノ一期ニ減リマシテモ、是ハ六万圓位ニ濟ムト云フコト程全體ニ増加ガ多イノアリマス、是ハ深ク懸念スル程ノコトハナカラウ、大體ニ於キマシテ増加恩給ハ三期分貰フノガ一期分ニナックタグ、貴フ高ハ減ラナイト云フ程度ニアラウト考ヘテ居リマシテ宜カラウト思ヒマス、然ルニ此四十三年前ノ文官ニ對スル分ニ對シマシテハ相當三千萬圓ノ計算ノ一部ト致シマシテ總額ガ八十万圓ニナリマシテ總豫算ノ六十万圓ヲ計上シテアタマノガ四分ノ一期分ニナリマスト云フト、二十万圓デアリマスカラ、四十万圓減リマスガ、左様ナ計算ニ大體ナッテ居リマシテ、是ハ將來永久ニ向テ多額ノ増加デゴザイマスカラ、多少廢兵トモ關係ガ違ヒマスシサウ不都合ヲ生ズルコトナカク、所ク云フ風ニ考ヘテ居リマス

額ヲ支給致シマスレバ、半年度分ハ全額支給ヲスル、斯ウ云
フヤウニナル、即チ個人カラ申シマスレバ、一年度分ヲ半額ヅ
ツ貰フカ、半年度分ヲ全額ヅ、貰フカト云フ計算ニナリマス
カラ、個人ガ受ケル所ハ相違ガナイ、斯ウ見ルガ適當デアラ
ウト思ヒマス、唯大藏次官ガ申上げマシタ財政上ノ差引ノ
差ガ生ズル所以ハ、一月一日カラ三月三十日迄ノ分ハ
十三年度ニ屬スルノデアリマス、十二年度ニ屬スベキ分ノ支
出ガ如何ニナルカト云フ點カラ見レバ、大藏次官ノ申上げタ
如クナルデアラウト考ヘマス

○阪本彰之助君 先キニ此江木君ノ御尋ネニ御答ノ續キト
シテ、大藏次官カラノ御陳述ノ中ニ施行期限ハ成ルベク勅令
ニ任スルト云フコトニシタイ、ト云フヤウナ御希望的御陳述ガ
アッヤウニ思ヒマス、大藏次官ハ小委員會ノ經過ヲ十分御承
知ナクテ御陳述ニナタノカモ知レマセヌカ、政府ノ御意嚮ト
シテハ、施行期限ハ勅令ニ任シテ貴ヒタイト仰シャルノモ、一
應御尤ノヤウニモ存ジマスガ、是ハ非常ニ世論が集中シテ居
ルノデアリマスカラ、此處デ折角貴衆兩院、政府モ非常ナ御
奮發デ御ヤリ下サルト云フ、此三ツノモノガ集合シテ受恩給
者ハ非常ナ福音デアリマスカラ、此際八十三條ニ明カニ施
行期限ヲ明示スルコトハ此際私共ノ熱望スル所デアリマス
ガ、深イ意味デ仰シヤツコトデモナカダヤウデゴザイマスガ、
何カサウシナケレバ、非常ニ御困リニナルコトガアルノデゴザイ
マスカ、参考ノ爲ニ伺ニ置キタイ

○政府委員(西野元君) ソレハ寧口昨日モ申上げマシタ

通り、法律ニ御書キニナリマスノト同様ニ之ヲ施行イタス
考デ居リマス、御書キ下ステモ差支ナイト考ヘマス、先刻江
木サンカラ財政計畫ノコトニ付キマシテ、財政計畫ガ非常ニ
確定的デナイモニニ對シテ、政府ニ義務ヲ負ハセルヤウナ法
律案ヲ規定スルコトハドウカト云フ御話ガアリマシタカラ、左
様ナ意味ニ於テ矢張り施行ノ責任ハ政府ノ全責任デアル、
政府ガ勅令ヲ以テ施行期日ヲ定メル迄ニ一切ノコトガ極マ
ル、モウ今日カラ極ニ屋リマスガ、愈々形式的ニ極ニマスノハ
勅令ヲ以テ施行期日ヲ定メルト云フ時ニ、政府ガヤラナケレ
バナラスト云フコトガ極リマスカラ、或ハ其點ハ其御見解カ
テ申セバ、政府ノ責任ニ屬セシタル方ガ適當デハナカラウカ
ト云フ私ノ私見ヲ加ヘテ申上げタノデゴザイマス、政府トシ
テ、是ニ對シテ反対ヲ申上げルト云フ意味デ申上げタノデハ
ナイ

○阪本彰之助君 諒承イタシマシタ

○大島健一君 扶助料ノ方モ只今入江政府委員ヨリ御
答辯ノヤウニ、矢張り増減ナシト云フコトニナルヤウニ考ヘ
マスガ、其點ハ如何デアリマスカ

○政府委員(入江貫一君) 扶助料ノ方ハ當初ノ計畫ガ

政府提案ノ初メノ計畫ニ依リマスト、割當額總額ニ於テ二
百五十八万圓ニナリマス、ソレガ今度改正ニナリマスト普通
恩給ノ増加ニ伴フ部分ヲ入レマシテ、八百餘万圓ノモノニ
ナリマス之ヲ半年分トイタシマスルト四百餘万圓ニナルノ
出ガ如何ニナルカト云フ點カラ見レバ、大藏次官ノ申上げタ
如クナルデアラウト考ヘマス

○阪本彰之助君 先キニ此江木君ノ御尋ネニ御答ノ續キト
シテ、大藏次官カラノ御陳述ノ中ニ施行期限ハ成ルベク勅令
ニ任スルト云フコトニシタイ、ト云フヤウナ御希望的御陳述ガ
アッヤウニ思ヒマス、大藏次官ハ小委員會ノ經過ヲ十分御承
知ナクテ御陳述ニナタノカモ知レマセヌカ、政府ノ御意嚮ト
シテハ、施行期限ハ勅令ニ任シテ貴ヒタイト仰シャルノモ、一
應御尤ノヤウニモ存ジマスガ、是ハ非常ニ世論が集中シテ居
ルノデアリマスカラ、此處デ折角貴衆兩院、政府モ非常ナ御
奮發デ御ヤリ下サルト云フ、此三ツノモノガ集合シテ受恩給
者ハ非常ナ福音デアリマスカラ、此際八十三條ニ明カニ施
行期限ヲ明示スルコトハ此際私共ノ熱望スル所デアリマス
ガ、深イ意味デ仰シヤツコトデモナカダヤウデゴザイマスガ、
何カサウシナケレバ、非常ニ御困リニナルコトガアルノデゴザイ
マスカ、参考ノ爲ニ伺ニ置キタイ

○政府委員(西野元君) ソレハ寧口昨日モ申上げマシタ

通り、法律ニ御書キニナリマスノト同様ニ之ヲ施行イタス
考デ居リマス、御書キ下ステモ差支ナイト考ヘマス、先刻江
木サンカラ財政計畫ノコトニ付キマシテ、財政計畫ガ非常ニ
確定的デナイモニニ對シテ、政府ニ義務ヲ負ハセルヤウナ法
律案ヲ規定スルコトハドウカト云フ御話ガアリマシタカラ、左
様ナ意味ニ於テ矢張り施行ノ責任ハ政府ノ全責任デアル、
政府ガ勅令ヲ以テ施行期日ヲ定メル迄ニ一切ノコトガ極マ
ル、モウ今日カラ極ニ屋リマスガ、愈々形式的ニ極ニマスノハ
勅令ヲ以テ施行期日ヲ定メルト云フ時ニ、政府ガヤラナケレ
バナラスト云フコトガ極リマスカラ、或ハ其點ハ其御見解カ
テ申セバ、政府ノ責任ニ屬セシタル方ガ適當デハナカラウカ
ト云フ私ノ私見ヲ加ヘテ申上げタノデゴザイマス、政府トシ
テ、是ニ對シテ反対ヲ申上げルト云フ意味デ申上げタノデハ
ナイ

○阪本彰之助君 諒承イタシマシタ

○大島健一君 扶助料ノ方モ只今入江政府委員ヨリ御
答辯ノヤウニ、矢張り増減ナシト云フコトニナルヤウニ考ヘ
マスガ、其點ハ如何デアリマスカ

○政府委員(入江貫一君) 過日來大島委員ヨリ數回ノ
御希望御質問デアリマスルノデ、多少ノ研究ハ致シツ、アリ
スカ、何カ御考ガアリマスラバ、一應伺ニ置キタイ

○政府委員(馬場鎭一君) 過日來大島委員ヨリ御
答辯ノヤウニシテ、是非は此恩給ノ主
義ヲ通ス爲ニ政府ニ於テ御研究實施ニナランコトヲ切ニ
希望スル、私ハソレダケノ希望ニ止メマスルガ、ソレニ對シ
テノ御話モアリマシテ、是ハ最モ結構ナコトデアルト存ジマス
ガ、義濟會トカ報效會トカ云フヤウナ所ニ低利資金デモ供
給シテ漸時回収セテヤルヤウニシテ、是非は此恩給ノ主
義ヲ通ス爲ニ政府ニ於テ御研究實施ニナランコトヲ切ニ
希望スル、私ハソレダケノ希望ニ止メマスルガ、ソレニ對シ
テノ御話モアリマシテ、是等ノ點ヲ考ヘテドウカ此救濟方法ヲ是非講ジ
ヤウノモノガ出來ヤウトシテ居リマス、私ハソレヲ細カイコト
ハ請ミマセヌガ、ドウ云フモノカト云フ點ヲ見ルノニハ、其信
用組合デ金融ヲスル利子ヲ聽イテ見ルガ一番宜イト思ツテ、
恰モ今高利貸ガヤツテ居ルヤウナモノデ、此方法ガナイト云フ
所カラ中間ノ機關ヲ設ケテ高利貸ニ入代ルヤウナコトニナ
ルト思フ、是等ノ點ヲ考ヘテドウカ此救濟方法ヲ是非講ジ
テ戴キタイト思ヒマス、申スマデモナク政府ニ於テモ著眼サレ
テ居ルト思ヒマスガ、ドウカ十分御研究ヲ願ヒタイト思ヒマ
スカ、何カ御考ガアリマスラバ、一應伺ニ置キタイ

○阪本彰之助君 チヨット其事ニ付テ私モ寧口希望ニ屬ス
ルコトデアリマスガ、此市中ヲ歩イテ見マスト能ク年金恩給
立替ト云フヤウナ恩給ヲ擔保ニ取テ金ヲ貸スト云フコトヲ
明カニ市中シタヤウナ看板ガ出テ居ルノヲ見マスガ、法律ガ恩
給證書ノ讓渡シ擔保ト云フコトヲ禁ジテ居ルニモ拘ラズソ
レヲ預シテ金ヲ貸シテヤルト云フ看板ガ出テ居ルト云フコト
ハ、甚ダ不都合ナコトデアルト思ヒマスガ、今政府ガ其事ヲ
察ノ方デ注意ヲシテ巡査ガ見付ケテ報告シタナラバ、其看
板ヲ撤廃サセヤウニハ、警視廳ナリ警察署ナリデ取締ガ付
キサウナモノダト思ヒマスガ、ドウカ此事モ御考慮ヲ願ヒマス、

私ハ常ニア、云フ看板ヲ見ル毎ニ感ジテ居リマスカラ、此際一言申上ゲテ置キマス

○委員長(公爵近衛文麿君) 御質問ガナケレバ御質問ハ之ニ止メマシテ討論ニ移リマス

○澤柳政太郎君 私ハ小委員ノ御修正ニ同意ヲ表シタイト思フノデアリマスカ、僭越ノヤウデアリマスルガ、一言…小委員諸君ハ此會期切迫ノ際非常ニ御多忙ノ際ニ四回モ此會ヲ御開キニナラテ慎重ニ御審議ニナリ、政府モ非常ニ難シジタニ拘ラズ遂ニ政府モ色々ニ苦心ニ結果小委員會ニ於テ御修正ニナラントスル所ニ同意セラレタ其勞ニ對シマシテ深ク感謝ノ意ヲ表シタイト思フノデアリマス、先刻委員長ノ御報告ニナリマシタ節ニ此修正ハ最モ適切ナモノニアラウト考ヘマシタノデ、私ハ全然賛成ヲ致ス次第アリマス

○子爵青木信光君 私モ澤柳君ト御同感デゴザイマシテ、此問題ハ隨分退職軍人官吏其他ノ精神上ニモ影響ヲ持ツ重大ナル問題デ、我モ心窓カニ心配シテ居リマシタ所、小委員諸君ニ於カセラレマシテ非常ナ御勉強ヲ以チマシテ種々御研究ノ上、政府トモ交渉ニナリマシテ、此年限ヲ短縮シテ本年ノ十月一日ヨリ施行セラル、ト云フノハ誠ニ結構ナコトデ、此御勞苦ニ對シテ感謝スル次第アリマス、唯今澤柳君ヨリ御述ベノ通り十月ヨリ施行スルト云フ小委員修正ニハ全然御同意ヲ申上ゲマス次第アリマス、尙ホ其改正ニ付キマシテ條項字句、其他自然ノ結果、文字ヲ修正イタシマシタリ、條文ニ變更ガゴザイマスカラ、是ハ委員長ノ御手許デ御纏メテ願フコトニ願ヒタイト思ヒマス

○福永吉之助君 只今青木子爵澤柳兩君カラ御意見ガゴザイマシタガ、私モ全然御兩君ニ御同感デゴザイマシテ、深ク小委員諸君ノ御努力ヲ謝スル次第アリマス、チヨット一言申上ゲテ置キマス

○委員長(公爵近衛文麿君) 外ニ御意見ガナケレバ…

○大島健一君 先程御許可ヲ得タニ拘ラズ控ヘテ居リマシタ、此增加恩給ノ第一項並ニ第二項ノ額ヲ今少シ上ゲタイト云フ意見デゴザイマスルガ、是ハ先づ之ニシテ置カウト云フ御議論モ多イヤウデゴザイマス、一應意見モアルヤウデゴザイマスガ、モウ一應皆サンノ御意見ヲ伺テ置キタイト思ヒマス

○江木翼君 第二號表及第三號表デゴザイマシタカノ第一項第二項ノ金額ヲ相當増額スルト云フコトハ、多少其主張ニ根據ガナイコトデハナイト思ヒマスケレドモ、原案ノ趣旨モ十分徹底シテ居ル理由ガアルト思フノデアリマス、此點ニ關シマシテハ恩給局長ヨリ屢々微細ナ御説明ガアリマスカ、我こそ諒承シテ居ル次第アリマス、此點ニ

或ハ原案ノ如ク五倍トナスガ宜シカ、十倍トナスガ宜シカト云フコトハ、畢竟目安ニ屬スルコトアラウト思フノデアリマス、政府ノ同意シテ居ラレマス原案ノ程度ガ適當ナル程度デアルト思ヒマシテ、此際更ニ之ニ入テ審査スルト云フコトハ、私ハ賛成ヲスルコトハ或ハ委員會ノ平和ヲ亂ス致シマシテモ他ノ項ニ於キマシテ修正意見ヲ有シテ居ルノデゴザイマスガ、此際提案スルコトハ或ハ委員會ノ平和ヲ亂ス此原案ノ儘テ通過サルルコトヲ希望イタシマス、私自身トト云フテハ恐縮デゴザイマスガ、再ビ議論ノ端ヲ開キマシテ、此會期切迫ノ際急ニ決マラナイ虞モアラウカト思ヒマスノデ、即時實行ト云フ大目的ノ爲ニ總テ原案通り決スルト云フコトガ、此際適當ナ處置ニアラウカト斯様ニ思フノデアリマス

○子爵青木信光君 「贊成」ト呼フ者アリ

○子爵青木信光君 私モ本案ノ成立ノ上カラ江木君ノ御說ヲ穩當ト存ジマシテ、江木君ノ御說ヲ贊成ヲ致シマス

○南弘君 私モ全然江木君ト同感デアリマスカラ、江木君ノ說ニ贊成イタシマス

○委員長(公爵近衛文麿君) ソレデハ是ヨリ採決ヲ致シマス、小委員會ノ修正案ニ御贊成ノ方ハ舉手ヲ願ヒマス

〔舉手者 全員〕

○委員長(公爵近衛文麿君) 全會一致ト認メマス、其他ハ衆議院ノ修正ノ通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス

○委員長(公爵近衛文麿君) 本委員會ニ付託ニナラテ居リマス大正十年法律第百二號中改正法律案ト云フモノガアリマスガ、之ヲ此機會ニ政府委員ノ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(馬場鉄一君) 是ハ極メテ簡単ナ案デアリマスカ、例ノ定年ニ因ル退職判檢事ニ普通恩給ノ五割増ヲ給シテ居リマスノデアリマスガ一般恩給ガ增額ニナリマスノデ、百分ノ五十ヲ割増ヲスル必要ガナクシテ、百分ノ三十位ニスルガ適當デアル、斯ウ云フ案デアリマス、ドウゾ御贊成ヲ願ヒマス

○阪本彰之助君 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○政府委員(馬場鉄一君) 大體ニ於テ平衡ヲ得ルヤウナコトニナラウト思ヒマス、チヨット極簡單ナ例デ申上ゲマスト、例ヘバ千二百圓ノ年俸ノ者ガ、從來ハ四分ノ一デアリマスカラ三百圓ト恩給ノ五割増ガ百五十圓デ四百五十圓ニナル、ソレガ今度ハ千二百圓ノモノガ三分ノ一トシマスト四百圓、恩給ノ三割増ガ百二十圓デ五百二十圓、現在ヨリモ好

出席者左ノ如シ	委員長	公爵近衛	文麿君	イコトニナルノデゴザイマス、二割ニシマスト少シ率ノ減ジ方
副委員長	大島	健一君	ガヒドクハイナカト云フノデ、先ツ三割ト云フコトニ致シマシ	カ
委員	伯爵副島	道正君	カ	タ
子爵青木	子爵樋口	誠康君	子爵船越	オ委員長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス、ソレ
男爵坂本	俊篤君	信光君	男爵郷	ト云フテハ恐縮デゴザイマスガ、再ビ議論ノ端ヲ開キマシテ、
澤柳	勝之助君	吉之丞君	神野	此會期切迫ノ際急ニ決マラナイ虞モアラウカト思ヒマスノ
福永	政太郎君	光之丞君	西野	デ、即時實行ト云フ大目的ノ爲ニ總テ原案通り決スルト云
南	弘君	俊篤君	澤柳	フコトガ、此際適當ナ處置ニアラウカト斯様ニ思フノデアリ
江木	鈴之助君	吉之助君	阪本	マス
				ス
午後零時二十一分散會	出席者左ノ如シ	委員長	公爵近衛	文麿君
副委員長	大島	健一君	ガヒドクハイナカト云フノデ、先ツ三割ト云フコトニ致シマシ	カ
委員	伯爵副島	道正君	カ	タ
子爵青木	子爵樋口	誠康君	子爵船越	オ委員長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス、ソレ
男爵坂本	俊篤君	信光君	男爵郷	ト云フテハ恐縮デゴザイマスガ、再ビ議論ノ端ヲ開キマシテ、
澤柳	勝之助君	吉之丞君	神野	此會期切迫ノ際急ニ決マラナイ虞モアラウカト思ヒマスノ
福永	政太郎君	光之丞君	西野	デ、即時實行ト云フ大目的ノ爲ニ總テ原案通り決スルト云
南	弘君	俊篤君	澤柳	フコトガ、此際適當ナ處置ニアラウカト斯様ニ思フノデアリ
江木	鈴之助君	吉之助君	阪本	マス
午後零時二十一分散會	出席者左ノ如シ	委員長	公爵近衛	文麿君
副委員長	大島	健一君	ガヒドクハイナカト云フノデ、先ツ三割ト云フコトニ致シマシ	カ
委員	伯爵副島	道正君	カ	タ
子爵青木	子爵樋口	誠康君	子爵船越	オ委員長(公爵近衛文麿君) 御異議ナイト認メマス、ソレ
男爵坂本	俊篤君	信光君	男爵郷	ト云フテハ恐縮デゴザイマスガ、再ビ議論ノ端ヲ開キマシテ、
澤柳	勝之助君	吉之丞君	神野	此會期切迫ノ際急ニ決マラナイ虞モアラウカト思ヒマスノ
福永	政太郎君	光之丞君	西野	デ、即時實行ト云フ大目的ノ爲ニ總テ原案通り決スルト云
南	弘君	俊篤君	澤柳	フコトガ、此際適當ナ處置ニアラウカト斯様ニ思フノデアリ
江木	鈴之助君	吉之助君	阪本	マス

政府委員	内閣恩給局長	入江	貫一君
法制局長官	馬場	鉄一君	
法制局參事官	黒崎		
大藏次官	西野		
太田	元君		
嘉太郎君			